

誰にもやさしい社会に

羽月西小学校 五年 宮ノ原 菜津子

みなさん、「クネット」って知っていますか。この言葉を聞いて、どんなものを想像しますか。「クネット」とは、階段についている「手すり」のことです。形がぐにゃぐにゃした様子から、この名前がついています。

私は一学期の国語の時間に、「ユニバーサルデザイン」について学習をしました。「ユニバーサルデザイン」とは、どんな人でも使いやすいデザインのことです。その学習で私は、「手すり」のことについて調べることにしました。なぜ、手すりについて調べたかというと、私のおばあちゃんのえいきょうがあります。私のおばあちゃんは、足こしが少し弱くて、町の中だけではなく、家の中でも手すりを使って生活しています。おばあちゃんにとってやさしい手すりはないかなと考えて調べることにしました。

まず、「クネット」について分かったことは、ぐにゃぐにゃした手すりだと、とてもいいことがあるということです。例えば階段を上るとき、真っすぐな手すりだとすべりやすくて力を入れづらいのですが、「クネット」だと、手すりを引っ張りやすく上りやすいのです。また下りるときも、手すりが曲がっているののでつかみやすく、ブレーキをかけながら下りることができ安心なのです。このようにちょっとした工夫で、階段の上り下りが楽になるのです。他にも、面白い手すりを見つけることができました。手すりの曲がり方がいろいろな大きさのもの、そしていろんな色で作られているおしゃれな手すりがありました。こんな手すりだったら、みんながどんどんつかんでくれそうで安全に階段を使えそうです。また、蛇のような形・デザインをした手すりもありました。こんな手すりだったら子供たちがどんどんつかもうとするので、けがをする心配がなくなりそうです。

私は国語の学習を通して、ちょっとした工夫をすることで、誰もが使いやすく、安全に生活できるものにつながると分かりました。

私のおばあちゃんは、手押し車を使っています。これからは、家から出しやすい場所に置くようにちょっと工夫してあげたいと思います。またおばあちゃんの家は、くつを脱いで家に上がるので、少し高くて大変です。ブロックなどを置くちょっとした工夫で、上がりやすくしてあげたいと思います。さらにトイレトペーパーが切りやすいところに置くようおばあちゃんを取りやすいところに置くようにちょっと工夫したいと思います。

これからできそうなことを考えると、おばあちゃんがとても喜んでくれそうで、私もうれしくなります。私はこれからもおばあちゃんが少しでも楽に生活できるように、ちょっとした工夫を考えていきたいなと思います。そしてみんなが誰かを思い、ちょっとした工夫を取り入れて、誰にもやさしい社会になってほしいと思います。